

3M Science.
Applied to Life.™



3M™ Scotchcal™ Paint Film Series

3M™ スコッチカル™ ペイントフィルムシリーズ

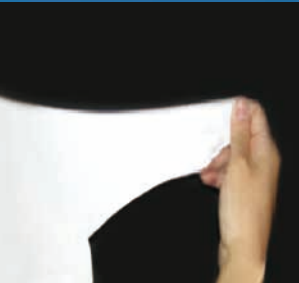
3M™ スコッチカル™ ペイントフィルムシリーズは
コンクリートや塗装壁面、タイルなどの凹凸のある下地へ直接施工できる、
サイン・広告・装飾用フィルムです。
3M™ MCS™ 保証プログラムにより最長5年保証。
高い屋外耐候性、美しい意匠性、簡便な施工性を備え、防火認定品もラインアップされた本製品は、
幅広い用途でお使いいただけます。

塗装代替

- 作業時間の短縮(下書きや乾燥時間不要)
- 溶剤臭が少ない(近隣への配慮)
- 自由な表現が可能(写真表現などが可能)

アルミ複合板サイン代替

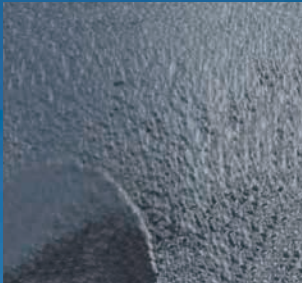
- 直接壁面へ施工可能(ビス打ち等不要)
- 安心安全(落下リスク減少)



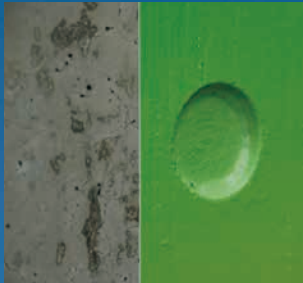
柔軟性が高い



隠蔽性が高い



圧着のみで施工が可能



凸凹面への追従が可能

落下リスクの低い
安全サイン用途..... 4

原状復帰可能な
広告用途..... 6

下地の風合いを活かした
装飾用途..... 8

駐車場/工場・倉庫路面向け用途..... 14

鉄道車両内外装向け用途..... 15



凹凸壁面へ直接貼れ、追従性が高く、落下リスクが低い。

安全サイン用途



推奨品番 ※1

ベースフィルム/不燃/長期 PF050	+	オーバーラミネートフィルム PF950AP (グロスタ입/不燃) PF951 AP (マット입/不燃) PF953AP (スーパーマット입/不燃)
ベースフィルム/特殊金属層含有 CQ001	+	オーバーラミネートフィルム IJ4116N (グロスタ입) IJ4117N (マット입)
カラー入 PF1xxAP		14色

※1掲載されている事例において採用されている品番と推奨品番は異なる場合がございます。
ご希望に合わせて最適な品番をご提案致します。



採用経緯

元々はチャンネル文字を検討していたが、落下リスクの懸念があった。本製品は壁面への追従性が良く、落下リスクの低い安心安全の製品であること、かつデザインについては立体感のある表現が実現できることから候補となった。最終的には検討していたチャンネル文字よりもトータルコストが低かったことも採用理由となった。



採用経緯

選択肢としては、アルミ複合板を用いたサインやバナーを掲載するといった方法があったが、アルミ複合板ではビスによって壁に穴をあけることが憚られた。また、バナーでは強風によって飛ばされるのでは、という懸念があった。本製品は壁面に直接貼り付けることができ、間にアルミ複合板などの板を挟む必要がないためビスが不要で、下地に非常に良く追従するため強風で飛ばされる心配も少ないことから採用。



壁面を傷つけず貼れ、綺麗に剥がせる。※1

広告用途



推奨品番 ※2

ベースフィルム/不燃/再剥離 PF051	+	オーバーラミネートフィルム PF950AP (グロスタ입/不燃) PF951 AP (マットタイプ/不燃) PF953AP (スーパーマットタイプ/不燃)
--------------------------------	---	--

※1 再剥離は1年以内です。また下地によっては再剥離性能を担保できない場合があります。詳しくは製品説明書をご覧ください。
※2 掲載されている事例において採用されている品番と推奨品番は異なる場合がございます。ご要望に合わせて最適な品番をご提案致します。



採用経緯
新店オープンの告知のため看板設置を予定していたが、ある程度告知後は撤去することを想定していた。本製品であれば原状復帰が可能で、このような用途に適していると考え採用。



下地の風合いを活かせる。

装飾用途



デザイン・施工 株式会社 丹青社

推奨品番 ※1

ベースフィルム/不燃/長期 PF050	+	オーバーラミネートフィルム PF950AP (グロスタ입/不燃) PF951 AP (マットタイプ/不燃) PF953AP (スーパーマットタイプ/不燃)
ベースフィルム/特殊金属層含有 CQ001	+	オーバーラミネートフィルム IJ4116N (グロスタ입) IJ4117N (マットタイプ)
カラータイプ PF1xxAP		14色

※1掲載されている事例において採用されている品番と推奨品番は異なる場合がございます。
ご要望に合わせて最適な品番をご提案致します。



採用経緯

成田空港第1ターミナル地下コンコースに外国人観光客へのおもてなしの空間としてミニギャラリーを開設し、日本を代表する美術作品を壁面を使って表現することを検討。下地は凹凸があるタイル仕上げだったが、フィルムが凹凸にしっかりと追従することで、作品がうまく再現されることから本製品を採用。



採用経緯

当初はアルミ複合板を貼りその上にフィルムを貼ることを検討していたが、板を貼ったような見た目ではなく、花びらが舞うような自然な見せ方がないか検討していた。カットして直接壁面に貼れる本製品であれば、より本来の表現に近づくため採用。

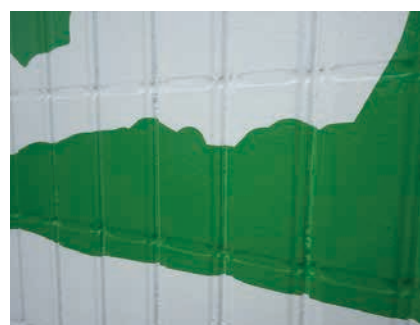
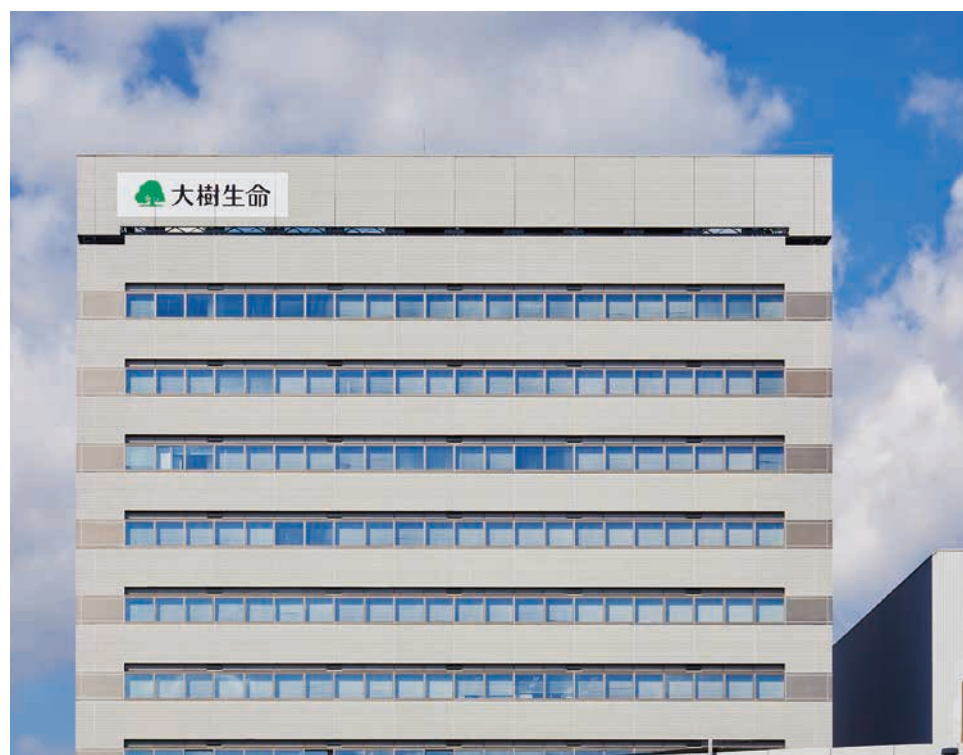


採用経緯

下地の凹凸が比較的細かく、フィルム貼りは困難なことは分かっていたが、塗装で再現するのも難しかった。この製品は凹凸に良く追従できるとのことで採用。

実績豊富な3M™ スコッチカル™ ペイントフィルム、
安心してお使いいただけます。

近年のご採用：大樹生命保険株式会社

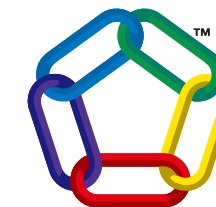


大樹生命保険株式会社では、商号変更に
伴う看板改修で、一部のオフィスビルに
3M™ スコッチカル™ ペイントフィルム
を採用した。
各オフィスビルの高所に設置されている
この製品は、より安全なオフィス作りに
貢献している。

3M™ スコッチカル™ ペイントフィルム (長期タイプ) は
3M™ MCS™ 保証プログラム対象製品 (最長5年保証)

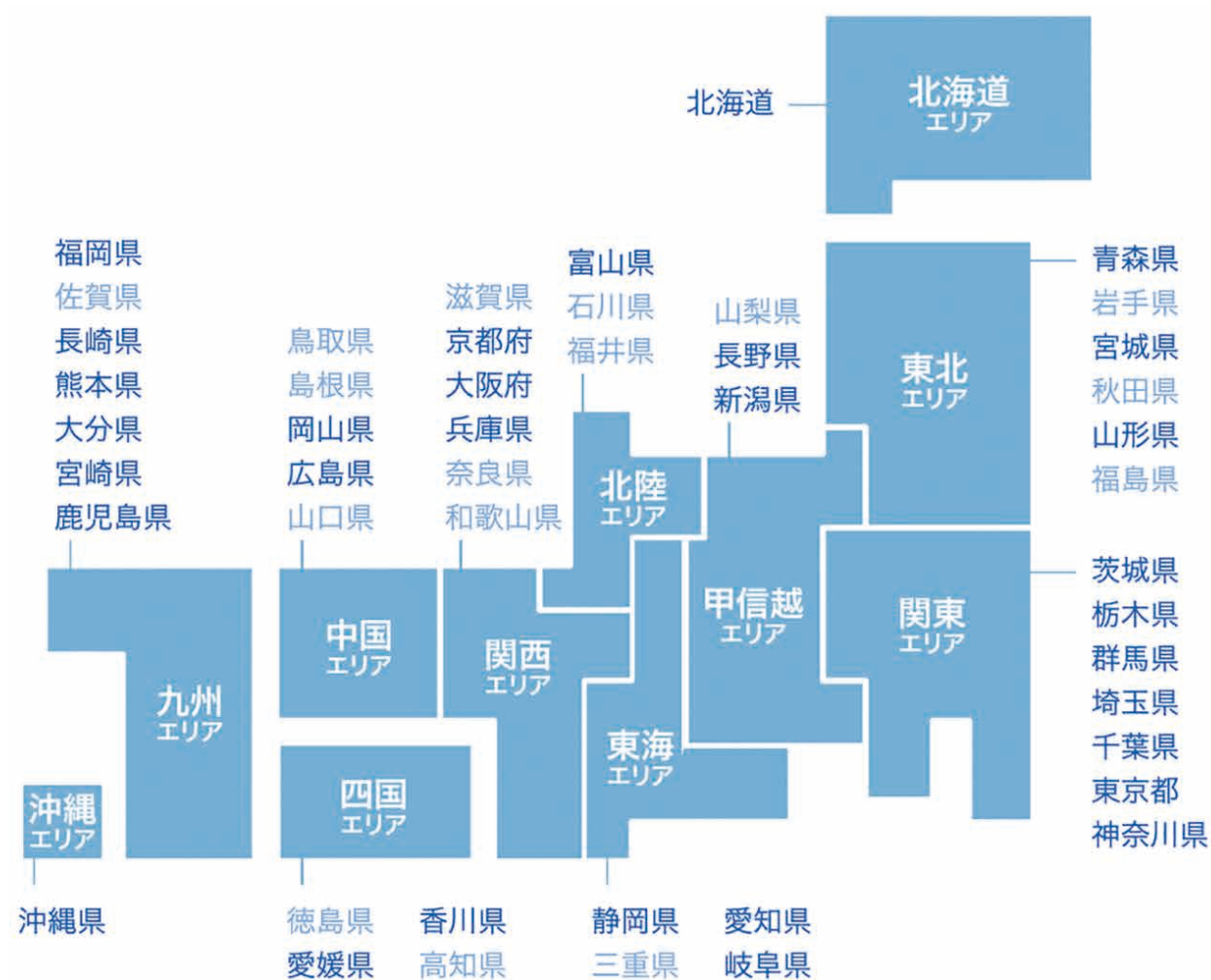
全国の3M™ MCS™ 保証プログラム認定店が、
確かな品質でお届けします。

スリーエムジャパンウェブサイトにて全国の認定店の検索ができます。
<https://www.mmm.co.jp/cg/value/advantage/shops.html>



3M™ MCS™ Warranty

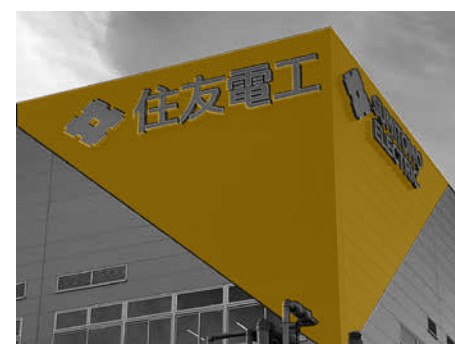
会社所在地から探す



対象製品・認定店情報は
コチラ



実績豊富な3M™ スコッチカル™ ペイントフィルム、
安心してお使いいただけます。



圧倒的な耐久性を実現した、路面用フィルムの登場！

駐車場/工場・倉庫路面向け用途

3 M™ スコッチカル™ ペイントフィルム CPG-III



駐車場の
思いやり
車室サインに

タイヤの据え切りにも対応。劣化の
少ない長期的なサインを実現。



工場/倉庫の
安全サインに

従来品に比べ、フォークリフトが通行
するようなエリアでも、サインが長持ち。



夜間の
サインとしても
効果を発揮

反射機能を備え、夜間でも視認性が
向上。安全・安心な駐車場を実現。



Point 1 タイヤの据え切りに対応

一般的なシートに比べて高い耐久性を実現。
タイヤの据え切りに対して、剥がれや破れ
が発生しにくく、長期間ご活用いただけます。

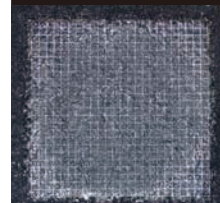
Point 2 凹凸の激しいアスファルトもOK

これまで適用が困難だった、凹凸の激しい
アスファルトにも施工可能に。施工可否
判断の手間を削減することができます。

Point 3 夜間も安全な反射機能

ガラスビーズにより反射機能を実現。夜間の
駐車場や工場・倉庫でもサインとしての役割
を果たし、安全な環境づくりに貢献します。

CPG-III (据え切り300回)



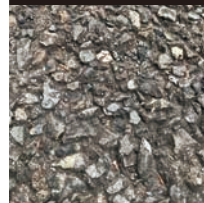
一般的なシート
(据え切り100回)



下地例 (コンクリート)



下地例 (アスファルト)



3 M™ スコッチカル™ ペイントフィルム CPG-I

- 車輻（タイヤ）の通行に対応（耐久性は6カ月程度*）
- 特殊金属層により通常マーキングフィルムより強度UP
- 路面の使用に適した防滑性（BPN40以上）
- 下書きや養生が不要
- 施工時に加熱の必要がなく、圧着のみで施工可能
- 溶剤臭がほとんどない

*：耐久性は使用環境により異なります。



鉄道車両内外装向け用途

3 M™ スコッチカル™ ペイントフィルム BSPCは、鉄
道車両の内外装向けグラフィックスフィルムです。
鉄道車両用材料燃焼試験において不燃性の取得が
困難なガラスやメラミン化粧板等の下地に貼り付
けた状態で不燃性を取得しています。

- 特殊アクリルを主材料とした塩ビ代替製品。
- 汚れが付着しにくい特殊処理により美観を保持し、
メンテナンス性が向上。

※表面が平滑、平面な下地にのみに施工してください。

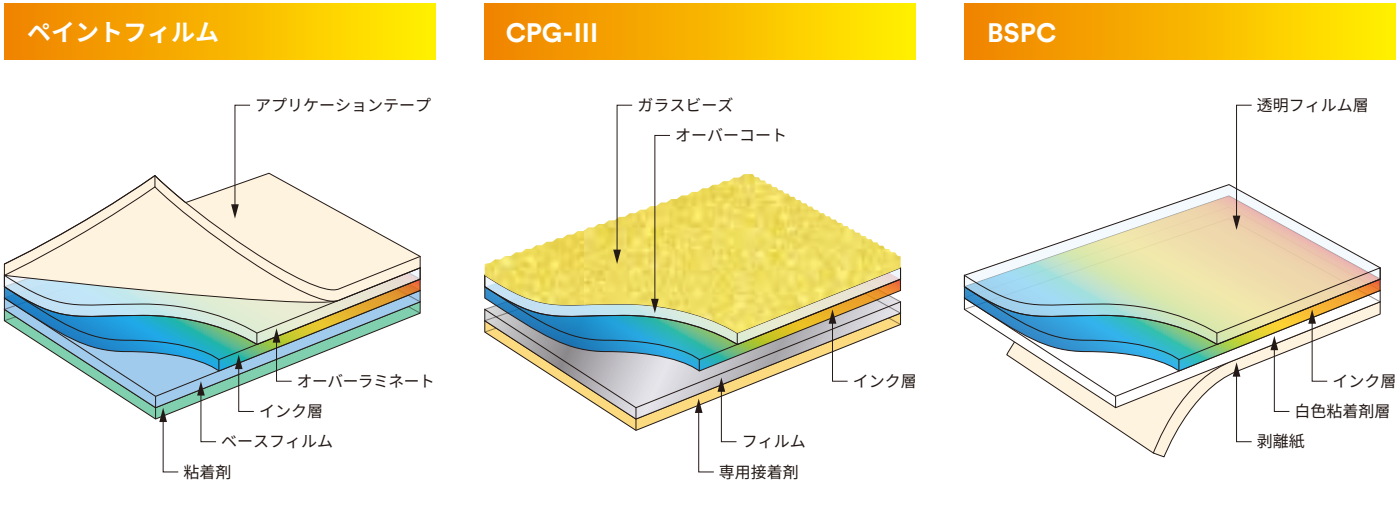
3 M™ スコッチカル™ ペイントフィルム 製品特性一覧

セグメント	シリーズ	用途 1	用途 2	フィルム種類	品番	フィルムサイズ	厚さ (粘着剤含む)	接着力	フィルム表面	フィルム特性	貼付温度	使用可能温度	耐候性※5	国土交通大臣 認定番号	不燃下地	車材燃試 認定番号	下地	備考
壁向け	PFシリーズ (カラータイプ)	屋外用途	壁面切り文字／ 目隠し	14色	PF1XXAPシリーズ	1000mm X 10M	0.08mm ^{※1}	約15N (25mm幅で測定) ^{※2}	マット※4	パーマナント	10～38℃	-30～80℃ (連続使用の場合は65℃まで)	約8年	NM-3873	不燃材料 (金属板、石膏ボード を除く) ^{※11}	—	—	AP付き
		屋内用途	壁面切り文字											NM-3873				AP付き
	PFシリーズ (グラフィックタイプ)	長期間用途	壁面装飾	ベースフィルム	PF000	1270mm X 20M	0.09mm	約14N (25mm幅で測定) ^{※2}	白色	パーマナント	10～38℃		約5年	—	—	—	—	
		再剥離用途	壁面広告		PF001C	1270mm X 20M	0.08mm	約12N (25mm幅で測定) ^{※2}	白色	再剥離 エア抜けタイプ	10～38℃		約3年 ^{※10} (再剥離性能は1年)	—	—	—	—	
		長期間用途	壁面装飾 / 広告		CQ001	1220mm X 25M	0.15mm	約15N (25mm幅で測定) ^{※2}	白色	パーマナント / 特殊金属層 剥離可能 ^{※6}	5～38℃		約3年	—	—	—	—	
		—	—	オーバーラミネート フィルム	PF900AP	1270mm X 20M	0.08mm ^{※1}	—	グロス	対応レセプターは PF000、PF001C	—		—	—	—	—	—	AP付き
		—	—		PF901AP	1270mm X 20M	0.08mm ^{※1}	—	マット		—		—	—	—	—	—	AP付き
		—	—		IJ4116N	1350mm X 50M 1350mm X 25M	0.08mm	—	グロス	対応レセプター CQ001	—		—	—	—	—	—	
		—	—		IJ4117N	1350mm X 50M 1350mm X 25M	0.08mm	—	マット		—		—	—	—	—	—	
	不燃 PFシリーズ (グラフィックタイプ)	長期間用途	壁面装飾	ベースフィルム	PF050	1270mm X 20M	0.06mm	約13N (25mm幅で測定) ^{※2}	白色	パーマナント	10～38℃		約5年	NM-3872	不燃材料 (金属板、石膏ボード を除く) ^{※11}	—	—	
		再剥離用途	壁面広告		PF051	1270mm X 20M	0.06mm	約10N (25mm幅で測定) ^{※2}	白色	再剥離	10～38℃		約3年 ^{※10} (再剥離性能は1年)	NM-3872		—	—	
		長期間用途	壁面装飾		PF052	1270mm X 20M	0.06mm	約15N (25mm幅で測定) ^{※2}	透明	パーマナント ^{※7}	10～38℃		約1年	NM-3872		—	—	
		—	—	オーバーラミネート フィルム	PF950AP	1270mm X 20M	0.03mm ^{※1}	—	グロス	対応レセプターは PF050、PF051、PF052	—		—	—	—	—	—	AP付き
		—	—		PF951AP	1270mm X 20M	0.03mm ^{※1}	—	マット		—		—	—	—	—	—	AP付き
		—	—		PF953AP	1270mm X 20M	0.03mm ^{※1}	—	スーパーマット		—		—	—	—	—	—	AP付き
駐車場向け	CPG-I	短期用途	路面装飾	ベースフィルム	PF330	1270mm X 30M	0.08mm ^{※8}	約12N (25mm幅で測定) ^{※12}	透明	耐摩耗層付き 特殊アクリルフィルム	10～38℃	-30～80℃ (連続使用の場合は65℃まで)	6 ヶ月程度	—	—	—	—	タイヤでの 据え切り不可
				路面用両面粘着 フィルム	PF300	1230mm X 25M	0.13mm ^{※9}	—	マット	特殊金属層付き アクリル系粘着剤	—	—	6 ヶ月程度	—	—	—	—	タイヤでの 据え切り不可
	CPG-III	長期用途		ベースフィルム フィルム	PF305	1240mmX20M	0.2mm (専用接着剤および オーバーコート剤を除く)	—	—	パーマナント	10～38℃	-15～65℃	コンクリート: 3年 アスファルト: 2年	—	—	—	—	別途専用接着剤、 専用オーバーコート剤、 専用ガラスビーズが必要
電車車体／ 窓面向け	BSPC	長期間用途	電車用装飾	グラフィック フィルム	IJ/PF BSPC MAT	1200mm X 原反長さ	0.09mm ^{※8}	約12N (25mm幅で測定)	マット	感圧型恒久粘着タイプ	10～38℃	-30～80℃ (連続使用の場合は65℃まで)	3年	—	—	21-930K	ステンレス板 (1.2mm)	弊社加工品のみ
														—	—	22-22K	メラミン化粧板 (1.4mm)	
														—	—	22-380K	ガラス (5mm)	

試験方法 ●フィルム厚：JIS K 7130に準ずる。●接着力：JIS Z 0237に準ずる。●特性における数値は、原則として温度20℃・湿度65％での試験結果を基にしています。
※1 アプリケーションテーブは含まない。※2 メラミン塗装板にて測定。※3 アルミ板にて測定。※4 アプリケーションテーブ剥離後の表面光沢。※5 日本国内標準的な環境下で屋外垂直サインに
施工した場合の予想耐候性。※6 特殊金属層により剥離可能。基材と使用期間により糊残り可能性あり。

※7 透明粘着剤のため、プライマー使用の場合、プライマーの劣化、プライマー黄変等により外観への影響が出る可能性あり。※8 透明バックングフィルムは含まない。※9 剥離紙は含まない。
※10 屋外耐候性は3年。剥離については1年以内。※11 建設省告示第1400号に例示された厚さ6mm以上の不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄銅、アルミニウム、金属板、せっ
こうボードを除くもの

製品構造図



防火認定取得製品 [不燃材料大臣認定番号取得]

防火措置が必要な場所に施工できる国土交通大臣認定不燃材料をラインアップ。※対象製品については、上記の製品特性一覧に記載



3M™ スコッチカル™ ペイントフィルム 施工方法

1. 清掃・位置決め



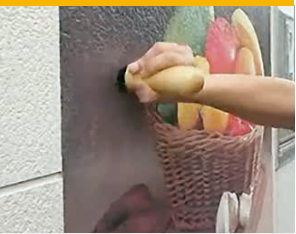
設置面を清掃後、位置決めを行い、スキージーもしくはリベットブラシで仮圧着します。

2. アプリケーションテープをはがす



アプリケーションテープをはがします。

3. 圧着



リベットブラシ等を用い、凹凸部に追従させます。特に端部には念入りに圧着させます。

4. 目地等への圧着



目地等への圧着はスキージーを上から押し付けるように動かします。フィルムの追従性が足りない場合はヒートガン等を使用し加熱圧着をします。



3M™ スコッチカル™ ペイントフィルム CPG-III 施工方法

位置決め・マスキング



設置面を清掃後、設置位置を決め、フィルム表面端部 4 辺にマスキングします。

バックングテープの除去



フィルム裏面のバックングテープを除去します

フィルム裏面接着剤塗布



専用接着剤をフィルム裏面に均一に塗布し、指で触れても付着しなくなるまで十分に乾燥させます。(室温：約20分)

下地接着剤塗布



専用接着剤をマスキング内側の設置面に均一に塗布し、指で触れても付着しなくなるまで十分に乾燥させます。(室温：約20分)

貼り合わせ



接着剤の乾燥後、施工面にフィルムを貼り合わせます。また、フィルム表面端部のマスキングを除去します。

圧着



ゴムハンマーで空気を抜くよう圧着します。特にエッジ部分は十分に圧着して下さい。(コンバクターでも圧着可能です。)

オーバーコート混練・塗布



2液(主剤と硬化剤)のオーバーコートをよく混ぜ合わせた後、ローラーを用いて均一にオーバーコートを塗布します。

反射材散布



オーバーコートが硬化乾燥する前に反射ビーズを全面に均一に散布します。

完成



オーバーコートの塗り残しや反射ビーズの散布漏れが無いことを確認します。



施工道具一覧



3 M™ マスキングテープ



3 M™ スキージー／3 M™ リベットブラシ



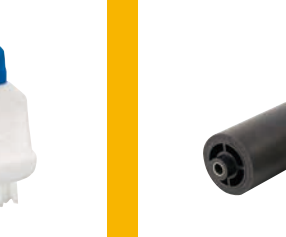
3 M™ CPG-III 用専用接着剤



3 M™ オーバーコート剤
(3 M™ スコッチカル™ ペイントフィルム CPG-III 用)



3 M™ 施工用ブラシ
PFA-1



3 M™ 施工用ローラー
PFA-2 (右) と交換用ローラー



3 M™ 施工用ローラー
PFA-3

施工可否基材一覧

基材 ^{※10}		写真	施工可否 ^{※1・11}	施工不可／ 注意の理由	使用期間	対応メディア		不燃対応 下地	施工注意点	
						カラータイプ	グラフィックタイプ			
コンクリート ^{※9}	塗装・クリアなし		施工可	—	長期 短期 ^{※2・3} 短期再剥離 ^{※3・4}	○	PF000 ／ PF050	○	● 野立ての場合は水平面の閉塞必要 ● 施工後にフィルムへの穴あけ必須	
	塗装・クリアあり			—			長期 短期 ^{※2} 短期再剥離 ^{※4}			PF052 PF001C ／ PF051 PF000 ／ PF050 PF052 PF001C ／ PF051
	コンクリート ブロック等の 水の染み出しあり		施工不可	基材内部からの 水の染み出し	—	—	—	—	—	
	塗装 ^{※9}	スタッコ ^{※5}		施工可	—	長期 短期 ^{※2} 短期再剥離 ^{※4}	○	PF000 ／ PF050 PF052 PF001C ／ PF051	—	● 塗装が完全に乾燥している事 （目安1カ月だが、 乾燥期間は塗料によって異なる）
リシン ^{※6}			施工不可	角により接着力低下 フィルム破れ	—	—		—		
砂目調 ^{※6}										
ゆず肌、梨地			施工注意	施工時空気が 逃げない様な形状の 基材は施工不可	長期 短期 ^{※2} 短期再剥離 ^{※4}	○	PF000 ／ PF050 PF052 PF001C ／ PF051	—	● 塗装が完全に乾燥している事 （目安1カ月だが、 乾燥期間は塗料によって異なる）	
平滑塗装面 ^{※7}					一般的な塗装鋼板		通常のフィルムで良い 再剥離不可			長期／短期
レンガ		レンガ		施工可	—	長期 短期 ^{※4・8}	○	PF000 ／ PF050 CQ001	○	—
タイル	磁器タイル、 湿式タイル		—		長期 短期 ^{※4・8}	PF000 ／ PF050 CQ001				
	乾式タイル		施工不可	基材が動く 目地が深い	—	—	—	—	—	
石	バーナー仕上げ		施工可	—	長期 短期 ^{※2} 短期再剥離 ^{※4}	○	PF000 ／ PF050 PF052 PF001C ／ PF051	○	● 剥離時に基材の一部も剥離する恐れ	
	磨き仕上げ（平滑） ^{※7}		施工注意	通常のフィルムで良い 再剥離不可	長期／短期		平滑面用 3M [™] フィルム			平滑面用 3M [™] グラフィック フィルム
ALC （Autoclaved Lightweight aerated Concrete）	塗装無し		施工不可	基材内部からの 水の染み出し	—	—	—	—	● 塗装が完全に乾燥している事 （目安1カ月だが、 乾燥期間は塗料によって異なる）	
	塗装あり		施工注意	塗装の形状により 施工可否判断が必要	長期 短期 ^{※2} 短期再剥離 ^{※4}	○	PF000 ／ PF050 PF052 PF001C ／ PF051			

※1 施工可能基材であっても基材の状況により施工できない場合もあります。詳しくは各種説明書をご確認下さい。※2 PF052は短期用途ですが再剥離性能を有しません。※3 テスト施工により初期接着力が充分であることを確認して下さい。屋内の使用に限り。詳しくはグラフィックスのコンクリートへの施工可否判断と注意事項を参照) ※4 再剥離性能は記載している貼り付け基材に限り。ただし、貼り付け基材の状態、環境条件によって再剥離性能は異なります。事前のテスト施工をお勧めします。※5 凹凸の比較的大きな基材を想定しています。テスト施工により初期接着力が充分であることを確認して下さい。※6 角の立っている基材や凹凸が微細な基材を想定しています。※7 3 M™ スコッチカル™ フィルムシリーズおよび 3 M™ スコッチカル™ グラフィックフィルムシリーズをお勧めします。※8 剥離時にノリ残りの場合があります。※9 基材の塗装やクリアで密着が弱い場合は剥離時に脱落する恐れがあります。事前にテスト施工を行って下さい。※10 コーキング部分にはフィルムを切り取る等の措置を行い、コーキングにフィルムが接しない様に施工して下さい。※11 特殊なクリアや塗装が施されている場合はフィルムの接着力が出ず施工出来ません。

CPG-III 免責事項 (詳細は各種説明書をご参照ください)

- 【施工に関する注意事項】
- 公道への施工は法律上、道路占用許可申請が必要です。絶対に無断で施工しないでください。
 - 製品上での車両の通行時は徐行して下さい。20km/h以上で走行される可能性のある箇所へは施工しないでください。
 - 施工後はなるべく4時間以上の養生を行ってください。
 - フィルム表面に専用接着剤が付着しないように、施工前にフィルム表面(特に端部)に弱粘着タイプのマスキングテープやアプリケーションテープを貼り付けてください。専用接着剤がフィルム表面に付着した場合、専用接着剤中の溶剤成分により印刷インクが侵されます。なお、使用するマスキングテープおよびアプリケーションテープは、これらテープを剥離した際にフィルム表面に糊残りや印刷インクの 剥がれ等が生じないことを事前に確認の上、ご使用ください。
 - 下地へのフィルムの圧着時に、下地の凹凸具合によってはフィルムに穴があく場合がありますが、オーバーコート剤の塗布によって外観性の改善および当該箇所を起点とした耐久性の低下が防げます。
 - オーバーコート剤を取り扱う際は、手に付着しないよう作業用手袋を着けてください。手に付着した場合はなるべく速く水や弱いアルコール等で洗い落としてください。
 - オーバーコート剤は規定の量(1㎡施工あたり主剤と硬化剤それぞれ1缶ずつ)使用し、フィルム全面に塗布してください。またこの時、出来るだけ均一にフィルム表面に塗布してください。塗布ムラが極端な場合、経時によるオーバーコート剤の収縮等によりフィルムにシワや亀裂などの外観異常が生じる可能性があります。
 - オーバーコート剤の主剤と硬化剤を1度混練すると、硬化が開始します。混練は1缶ごとに行い、混練後は完全に硬化する前にフィルムに塗布するようにしてください。オーバーコート剤は混練後、約20分で粘度が上昇し塗布しずらくなり、約1時間で概ね硬化します。
 - 反射ビーズは、オーバーコート剤を塗布後なるべく30分以内に散布するようにしてください。オーバーコート剤が完全に硬化した後に反射ビーズを散布しても、反射ビーズがオーバーコート剤表面に固着せず 必要な防滑性および反射性能が得られません。
 - 反射ビーズはフィルム全面に散布してください。反射ビーズの散布がされていない箇所は、防滑性が低下する恐れがあります。
- 【施工下地に関する注意事項】
- 激しい亀裂が入った下地や脆く劣化した下地への施工はできません。
 - 人による通行量が1日当たり1万人以上のエリアに施工した場合、耐久性が低下する恐れがあります。
 - 貼り付け下地の新設舗装から1カ月以内の施工は避けて下さい。
- 【製品に関する注意事項】
- 白線や塗料上への施工は可能ですが、それらの劣化状態によっては耐久性が低下する可能性があります。
 - 局所的に強い力が加わるとフィルムが割れてしまう場合があります。(除雪作業、家具や什器等の引きずり、フィルム上にある石や異物等)
 - トラックやタンクローリー等の大型車のタイヤのねじれや荷重等により、短期間で金属層の露出やフィルムの穴開き等が発生する場合があります。
 - オーバーコート剤はベースフィルム(PF305)専用となっており、PF305以外のフィルム製品との組み合わせ使用が出来ません。
 - 本製品は貼り付け時に専用接着剤を塗布するため、フィルム剥離後の原状復帰は出来ません。

※製品の仕様やデザインは改善などのため予告なく変更する場合があります。

※掲載している製品のラインアップは予告なく変更する場合があります。

※製品ラインアップの詳細については、弊社までお問い合わせください。

- 本パンフレットに記載している事柄、技術上の資料、推奨事項などは、全て弊社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性もしくは完全性について保証するものではありません。事前にお客様の責任において製品が目的・用途に適合するかどうかをご判断ください。
- 弊社は別途定める場合を除き、製品が不良であることが証明された場合には代わりの製品を出荷させていただきますが、それ以外の責任は負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本パンフレットに記載されていない事柄、技術上の資料、推奨事項などは、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限り弊社は責任を負いません。

3M、スコッチカル、MCSは3M社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社
コマーシャルソリューション事業部

WEB 3M グラフィック Q

https://www.3mcompany.jp/3M/ja_JP/graphics-signage-jp/

Please Recycle. Printed in Japan.

© 3M 2022. All Rights Reserved. DEC-024-F(200703)KY

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

 **0570-012-123**

9:00～17:00 / 月～金(土日祝年末年始は除く)